

# 身体分会 ダイジェスト

発行元：宮城東部地域自立支援協議会 平成29年1月

## ニーズと今年度の取り組み

昨年度、各身体障害者福祉協会のご協力により実施したアンケートの結果をもとに、身体分会としてのニーズを整理しました。そして、今年度はそのニーズの中から次のとおり取り組みました。

ニーズ	ニーズに向けた今年度の取り組み
①各身体障害者福祉協会の会員数を増やしたい。 ②宮城東部地域として交流できる機会がほしい。 ③障害者福祉に関する制度をわかりやすく情報発信してほしい。 ④視覚障害のある方が使える福祉サービス等を知りたい。	■身体障害のある方を対象にした障害者差別解消法学習会を開催し、同法の理解を深めるとともに、当事者間の交流を図る。 ■学習会の案内を通して、各当事者協会の加入を呼びかける。

## 活動の様子

### 障害者差別解消法学習会



障害のある人もない人も共に暮らせる社会の実現に向けて皆さんで考えました。

平成28年10月4日 / 松島町文化観光交流館

講演：障害者差別～障害者との共生～

講師：宮城県障害者社会推進センター所長 森正義氏

### 意見交換より一部紹介

#### 物理的環境について…

○公共施設でも点字や音声案内の無いところがあり不便を感じるが、障害者からの声はなかなか届かない。

●配慮されないと諦めずに、私たち当事者からも建設的なアイデアを出していきたい。障害者差別解消法は今年4月に施行されたばかりで、これからである。個人だけでなく、障害者団体やグループ、自立協等として意思表示をすることも考えたらどうだろう。

#### 障害者雇用について…

○就職したものの、本人と雇用者側に意識のズレがあり困惑したという話も耳にする。職場の中で馴染めるような環境づくりが必要である。

●雇用率とともに定着率を知りたい。お互いに理解し合う努力が大切だと思う。

## 次年度に向けて

今後も宮城東部地域の当事者の方々が集まり、地域の課題について話し合える場を作りたいと思います。また、来年度は視覚障害について理解を深めていきたいです。

### 東部地域自立支援協議会

#### 家族会等支援ネットワーク身体分会メンバー

リーダー：吉川氏(杏友園) サブリーダー：梅津氏(松島町)

記録等：大友氏・西村氏(ぱれっと)

